



知床科学委員会

しんぶん

エゾシカ・陸上生態系

ワーキンググループ NO. 10



「知床で今何が起きているの!?!」「どんな調査が行われているの!?!」など、タイムリーな情報をお伝えします。

エゾシカ・陸上生態系 ワーキンググループって?

知床半島で、エゾシカや陸上生態系の管理をどのように進めるのか議論するための会議です。

この会議での意見をもとに、さまざまな事業が進められています。

今回の会議

平成 27 年 11 月 12 日 (木) 釧路地方合同庁舎にて、今年度第 2 回目の会議がありました。

必見!
TOPIC

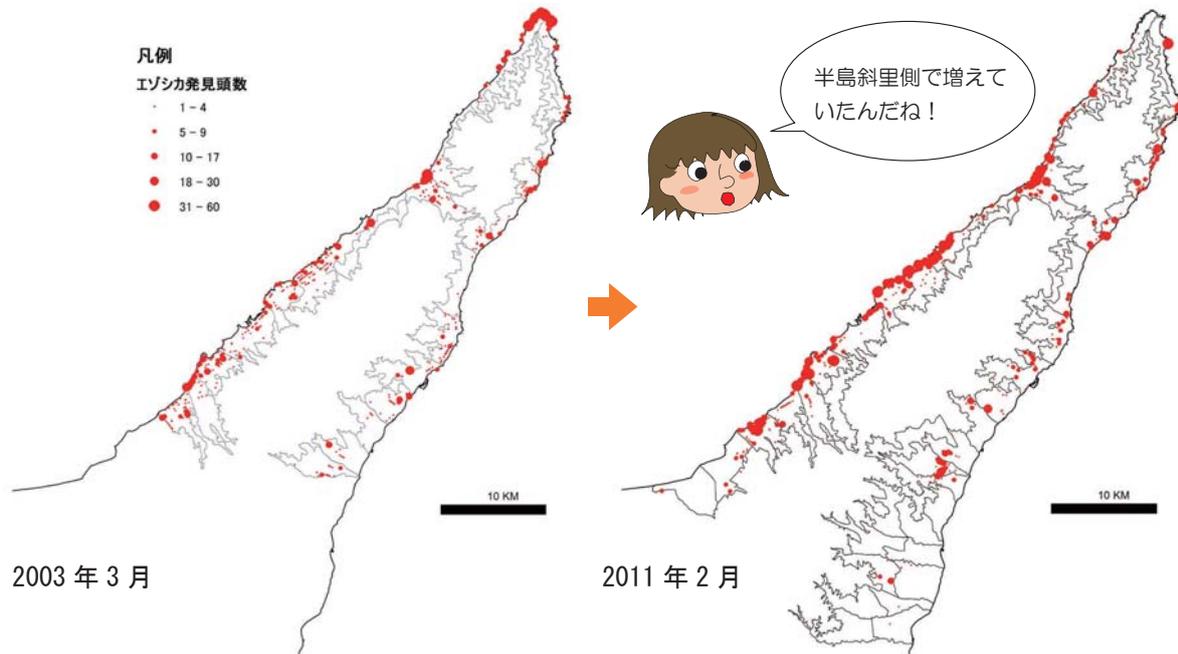
5 年ぶりにエゾシカの 広域ヘリコプター調査を実施します!

2016 (平成 28) 年の 2 月頃、ヘリコプターを使って上空からエゾシカを数える調査を、知床半島のほぼ全域で行います。予定している調査範囲は羅臼側が知床岬から峯浜まで (植別川以北)、斜里側が岬から朱円の一部まで (海別川以北) です。

同じ調査を過去には 2003 年と 2011 年に実施しています。2011 年は 2003 年と比べて、斜里側で増加傾向、羅臼側で横ばい、

知床岬は減少傾向との結果でした。

前回 (2011 年) の調査以降、現在までの間に、半島内の各地区では一般狩猟も含む様々な方法によって 5 千頭弱のエゾシカが捕獲されています。今回の調査では、それらの捕獲の成果を確認するほか、今後の地区ごとの管理方針や捕獲目標頭数などを決めるための基礎資料とする予定です。



今回主に話し合ったこと

- ① 今冬のエゾシカ捕獲事業案について
- ② 植生モニタリング結果速報について
- ③ 知床半島エゾシカ保護管理計画の見直しについて

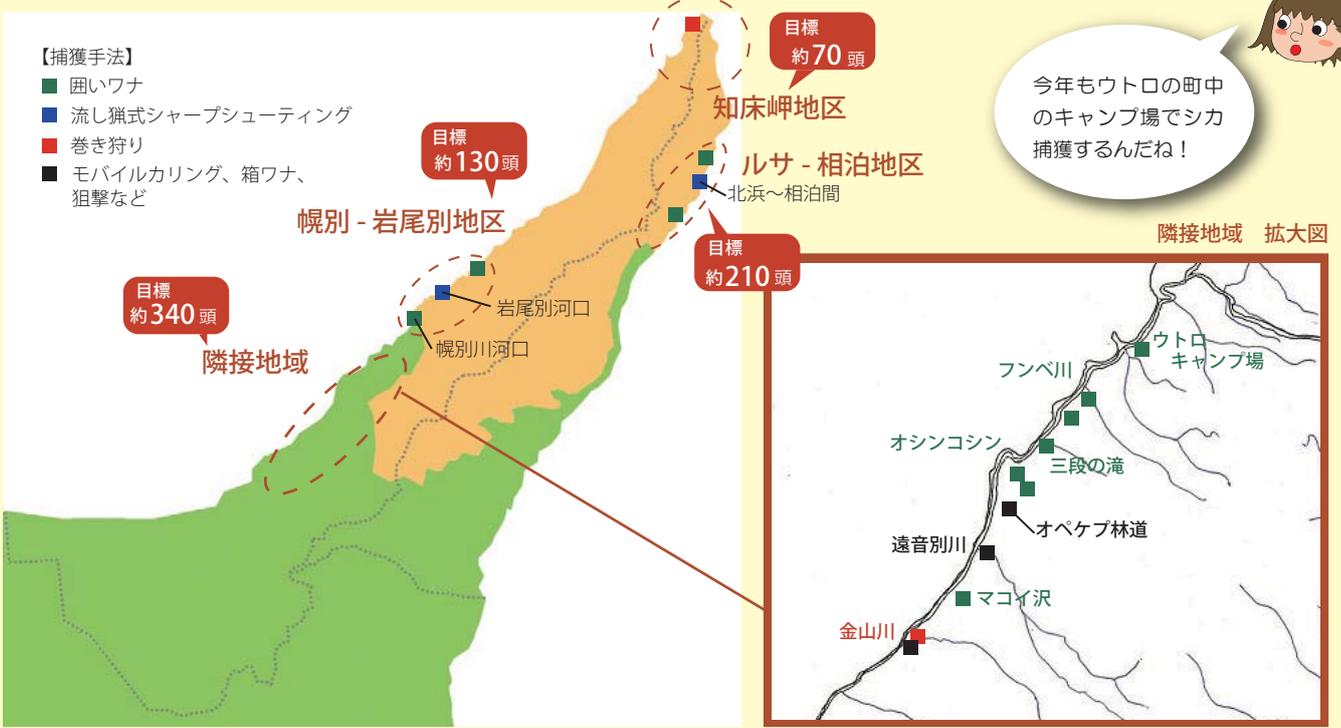
注目!

今冬のエゾシカ捕獲事業の予定

世界遺産地域内の知床岬地区、ルサ・相泊地区、幌別・岩尾別地区の3地区では環境省事業によるエゾシカ捕獲が、世界遺産隣接地区である斜里町側の国有林内では、林野庁事業による捕獲が実施されます。

知床岬では、捕獲を始めた8年前と比べるとエゾシカの生息数が大幅に減少しています。捕獲区域外からのエゾシカの流入が確認されており、まだ手を緩めることができない状態

です。ルサ・相泊地区や幌別・岩尾別地区では、昨冬は大雪の影響で道路が通行止めになるなどとして、十分な捕獲作業が実施できなかったため、今冬の成果が期待されるどころです。なお、遺産隣接地区では林野庁が囲いワナの設置数を増やすなどして捕獲圧を強化する他、一般狩猟や町役場による有害駆除なども実施されます。



捕獲手法



■ 囲いワナ



■ 流し猟式シャープシューティング※



■ 巻き狩り

※特別な許可を得て、通行止めにした道路上を移動する車の荷台から狙撃します。

■ 問合せ先 ■

環境省釧路自然環境事務所 〒085-8639 北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4 階 TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575

■ 発行：環境省

■ 制作：公益財団法人 知床財団

■ 発行日：2016年1月31日